

都道府県名:青森県 団体名:十和田市名水保全対策協議会

地域

十和田市は、特別名勝及び天然記念物である十和田湖・奥入瀬溪流を有し、八甲田の自然が豊かなまちです。平成17年には十和田湖町と新設合併し、新しい十和田市が発足しました。これにより十和田市の面積は725.6km²となり、青森県では第3位の面積となりました。

また、十和田市現代美術館のある官庁街通りは、世界でもまれな試みとして、通り全体をひとつの美術館に見立て多様なアート作品を展開しています。

経緯

十和田市内の由緒ある湧水4ヶ所「沼袋の水」「白上の湧水」「落人の里の水」「桂水大明神の水」が、昭和62年2月、県の指定する「私たちの名水」に認定されたことを契機に十和田市名水保全対策協議会が昭和63年5月、竹島勝昭氏を会長とし、設立されました。

平成17年の旧十和田湖町との合併により「八甲田清水」、平成24年に三日市湧水を整備して「キッコイジャの水」として追加し、現在6カ所の名水地の保全活動に努めています。

功績内容

市民により設立された十和田市名水保全対策協議会は、竹島会長を中心に有識者や名水地の町内会の方々の協力により、今日まで長年にわたり名水地の環境や施設の保全活動を続けてきました。現在名水地は、昔の姿を残しながら憩いの場として市民に親しまれています。

また当協議会で、名水地の保全を各方面に働きかけ、「沼袋の水」「白上の湧水」の2ヶ所の名水地を公園として改善整備し、より利用しやすい環境を整えました。特に沼袋名水地においては、杉の木150本を伐採し、広葉樹への植樹替えにより水質改善もなされました。

さらに、平成26年度からは、名水地2ヶ所において、次世代を担う小学生を対象とした自然環境体験学習を行なっています。



整備された沼袋名水公園



整備された白上名水広場



水質検査の様子



小学生を対象とした
フィールドワーク



フィールドワークにより発見
された希少生物キタノメダカ